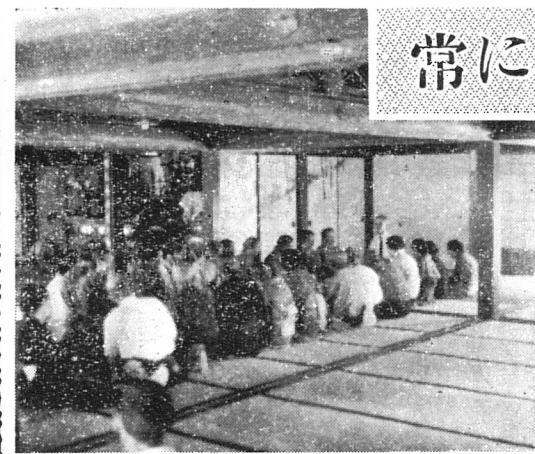


グループ

3

研農会(桐林・小池)



常に新しい話題を求めて

上川路老人の集い

意気盛んな丘の学級

△各種のグループ活動が龍丘地区内でも盛んである。△が、上川路に常に新しい感覚を得る為に出来た老△△へ達のグループが活躍している。これを丘の学級△△呼んでいる。

今迄の農村の老人は若い頃から働き続けて死ぬ老齢へ云つた様な人が多かつた為に農村には複雑な家庭問題が起きた。青年、婦人に対する社会教育が盛んだが老人にはそれが少い。

この様なことが動機となって、皆で愛され、そして役に立つ老人となって余生を楽しく明るく少しだも長生きを目標ではないかと開善寺の橋本玄徳氏が中心となつて去る三月に老人学級が誕生した。

寺老人の集りであるので耳の運

いへも居るから出来るだけ大きな声を出す。の四点である。

従つて年令、入退会は自由である今は五十四才・八十一才と年令にはかなり聞きはあるがほとんど

現年は五十四才・八十一才と年令にはかなり聞きはあるがほとんど

年寄りとなってしまったのだから

これからは気軽に暮して行きたい

このグループの大まな特徴はいつも新らしい感覚を得る様に内容

が進むれば話題も常に新らしいものが中心となり、農話は一切出

来ないことになっている。

今迄に五回開かれたがその内容も

阿南病院の宇治先生の「ガンと原

子力」選舉の時期には「選舉につ

いての話し合い」矢高東先生の「

むし知らせる」と云う事と電気の関係等といつも時代の先端の知識を深めている。

学級で社会見学も予定されているが、老人達だから神社、仏閣の見

学と思われるがそうではなく、現

に現地のテノボに少しでも遅れない様にと云う点に努力が

て各自が一番手近かな農家訪記を行くよう努力している。

記帳し自分の農業経験を改善して

いる。研究発表、忘年会、といった事業計画を

或る員会は簿記々帖について云う。

農業物の重要なものは供出が輸入

スもうとったと云うことから

が会の始める前記録

この会は、桐林小池部落の十六名

の有志が作っているグループで年

令は千七百から発足した。

五年才の由年の会合が重なるだけ

男子で、皆だも一家の中心人

歩かないからどう

このいきまつた農業形態の中で

水引の葉が盛ん如何にして生産量を減らして飛流

で、金の七割を対処すべきかということを真剣

これだけ損をした、これだけも考

考それには共同經營や耕作のうけたと云えない者がほとんど

今は名譽職に付いた人にはねばならないという基本的な構想に立つ

いた人もなければ、られない

は一人残らず簿記を記載し、それ

考える農民に

3

この部

この部